

## 平成21年11月期 第3四半期決算短信

平成21年10月2日

上場会社名 株式会社 不二越

上場取引所 東

コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 本間 博夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 薄田 賢二

TEL 03-5568-5210

四半期報告書提出予定日 平成21年10月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年11月期第3四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第3四半期	78,576	—	△3,974	—	△5,284	—	△7,254	—
20年11月期第3四半期	153,829	8.7	13,262	7.4	12,269	8.3	7,143	6.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第3四半期	△29.17	—
20年11月期第3四半期	28.72	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第3四半期	172,236	53,346	29.6	204.75
20年11月期	192,444	63,530	31.6	244.30

(参考) 自己資本 21年11月期第3四半期 50,917百万円 20年11月期 60,758百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	0.00	—	8.00	8.00
21年11月期	—	0.00	—		
21年11月期 (予想)				—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年11月期の期末配当予想については未定であります。

## 3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	△47.3	△3,200	—	△5,200	—	△7,700	—	△30.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社 (社名 ) 除外 — 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年11月期第3四半期 249,193,436株 20年11月期 249,193,436株

② 期末自己株式数 21年11月期第3四半期 507,078株 20年11月期 491,084株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年11月期第3四半期 248,694,130株 20年11月期第3四半期 248,701,664株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 今期の配当金(予想)につきましては、経営環境の先行きが依然不透明であることから、今期の業績見通しを更に見極めた上で改めて公表させていただきたいと存じます。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

当連結会計年度は四半期報告制度の導入初年度であるため、「1. 連結経営成績に関する定性的情報」及び「2. 連結財政状態に関する定性的情報」における前年同期比較分析には、前年同期の参考値を用いています。

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年12月1日～平成21年8月31日）の当社グループをとり巻く経営環境は、国内外の自動車をはじめ産業機械、電機・電子など広範な産業分野において、急激かつ大幅に市場が収縮するなど、かつてない厳しい状況にありました。

このような環境のもと、当社グループは、独自のエンジニアリングビジネスを切り口に、新興国市場やエネルギー・インフラストラクチャー分野など新しい収益基盤の確立に努めてまいりました。しかしながら、工作機械や建設機械などの既存分野の需要低迷が大きく影響し、当第3四半期連結累計期間の売上高は、785億76百万円と前年同期に比べ48.9%の減収となりました。このうち、国内向けの売上高は510億60百万円（前年同期比51.4%減）、海外売上高は275億15百万円（同43.7%減）であります。

利益面につきましては、急激な売上・生産の減少に対し、材料・外注費の低減や人件費をはじめとした固定費、販売費・一般管理費など諸費用の削減にとり組みましたが、操業度の低下の影響が大きく、当第3四半期連結累計期間の営業損失は39億74百万円（同172億36百万円の減益）、経常損失は52億84百万円（同175億54百万円の減益）となりました。これに、特別損失3億78百万円、法人税等17億45百万円を計上した結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は72億54百万円（同143億97百万円の減益）となりました。

事業の種類別セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

機械工具事業では、航空機やエネルギー関連向けの精密工具、工作機械が底堅く推移しましたが、自動車向けの工作機械やロボットが設備投資抑制の動きを受けて大きく落ち込み、機械工具トータルの売上高は272億30百万円（前年同期比53.2%減）となり、19億67百万円（同55億42百万円の減益）の営業損失となりました。

部品事業では、鉄道車輛や造船などインフラストラクチャー関連向けの高機能ベアリングや省エネ油圧ユニットの需要が伸びましたが、建設機械や工作機械向けが低水準にとどまり、部品トータルの売上高は442億43百万円（同45.4%減）となり、17億60百万円（同100億54百万円の減益）の営業損失となりました。

その他の事業では、特殊鋼や熱処理装置の需要低迷により、売上高は71億2百万円（同51.0%減）となり、2億83百万円（同16億55百万円の減益）の営業損失となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,722億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ202億8百万円減少しました。主な増減としましては、現金及び預金が93億32百万円増加し、減少は、受取手形及び売掛金192億20百万円、棚卸資産51億15百万円、有形固定資産39億37百万円などです。負債合計は、1,188億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ100億23百万円減少しました。主な増減としましては、借入金が137億93百万円増加し、支払手形及び買掛金が257億71百万円減少しました。

純資産合計は533億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億84百万円減少しました。主な減少としましては、利益剰余金92億89百万円、評価・換算差額等が5億48百万円です。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動による資金の減少は74億99百万円となりました。これは、主として減価償却費69億85百万円、売上債権の減少183億26百万円などにより資金が増加し、税金等調整前四半期純損失55億95百万円、仕入債務の減少249億26百万円などにより資金が減少したことによるものであります。投資活動による資金の減少は74億48百万円となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出82億78百万円、有形固定資産売却による収入8億13百万円などによるものであります。財務活動による資金の増加は247億46百万円となりました。これは、主として、借入金の純増額143億10百万円、社債の発行72億50百万円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は222億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ93億88百万円の増加となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、自動車など一部の業界で生産回復の動きがありますが、産業機械分野全般にわたる生産動向は、依然として低水準の状態にあり、総じて厳しい状況が続くものと考えられます。

当社グループとしましては、機械加工、ロボット、機能部品、材料・熱処理技術を相互に連環させた「ナチビジネス」を展開し、ひき続き市場の拡大が期待できるエネルギー・インフラストラクチャー分野、新興国市場の開拓にとり組んでまいります。また、製造面での徹底したコストダウンをはじめ、調達・物流、研究開発、人事・組織など経営のあらゆる面で改革を推しすすめ、安定した収益基盤を構築し、業績の向上に努めてまいります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

##### 1. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### 2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### 3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

##### 1. 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### 2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更による当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

##### 3. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。この変更による当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

4. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。この変更による当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であります。また、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,334	13,001
受取手形及び売掛金	19,287	38,507
商品及び製品	13,552	14,433
仕掛品	8,284	12,034
原材料及び貯蔵品	5,836	6,319
その他	4,235	6,548
貸倒引当金	△138	△228
流動資産合計	73,390	90,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,552	31,858
機械装置及び運搬具(純額)	37,606	45,922
その他(純額)	14,299	9,614
有形固定資産合計	83,458	87,395
無形固定資産		
投資その他の資産	398	403
投資有価証券	11,875	9,801
その他	3,113	4,227
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	14,988	14,027
固定資産合計	98,445	101,827
資産合計	172,236	192,444
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,321	40,093
短期借入金	42,853	36,687
未払法人税等	183	1,287
その他	6,261	13,824
流動負債合計	63,620	91,892
固定負債		
社債	14,330	7,100
長期借入金	28,258	20,630
退職給付引当金	5,212	6,081
役員退職慰労引当金	5	22
負ののれん	57	47
その他	7,405	3,138
固定負債合計	55,269	37,020
負債合計	118,889	128,913

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,562	11,567
利益剰余金	25,683	34,972
自己株式	△173	△175
株主資本合計	53,147	62,439
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,276	2,029
為替換算調整勘定	△5,506	△3,710
評価・換算差額等合計	△2,229	△1,681
少数株主持分	2,428	2,772
純資産合計	53,346	63,530
負債純資産合計	172,236	192,444

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)
売上高	78,576
売上原価	67,948
売上総利益	10,627
販売費及び一般管理費	14,602
営業損失(△)	△3,974
営業外収益	
受取利息	73
受取配当金	143
負ののれん償却額	17
持分法による投資利益	52
その他	394
営業外収益合計	680
営業外費用	
支払利息	1,067
その他	923
営業外費用合計	1,990
経常損失(△)	△5,284
特別利益	
固定資産売却益	4
貸倒引当金戻入額	56
ゴルフ会員権売却益	6
特別利益合計	67
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	75
特別退職金	300
ゴルフ会員権売却損	1
特別損失合計	378
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,595
法人税、住民税及び事業税	167
法人税等調整額	1,577
法人税等合計	1,745
少数株主損失(△)	△86
四半期純損失(△)	△7,254

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	
売上高	23,153
売上原価	20,567
売上総利益	2,585
販売費及び一般管理費	4,770
営業損失(△)	△2,184
営業外収益	
受取利息	19
受取配当金	103
負ののれん償却額	6
持分法による投資利益	13
その他	257
営業外収益合計	401
営業外費用	
支払利息	387
その他	188
営業外費用合計	575
経常損失(△)	△2,359
特別利益	
固定資産売却益	0
投資有価証券評価損戻入益	27
貸倒引当金戻入額	46
ゴルフ会員権売却益	6
特別利益合計	81
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	17
特別退職金	14
ゴルフ会員権売却損	0
特別損失合計	33
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,312
法人税、住民税及び事業税	7
法人税等調整額	187
法人税等合計	194
少数株主損失(△)	△13
四半期純損失(△)	△2,494

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,595
減価償却費	6,985
負ののれん償却額	△17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△80
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△869
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16
受取利息及び受取配当金	△216
支払利息	1,067
持分法による投資損益(△は益)	△52
有形固定資産売却損益(△は益)	△2
有形固定資産除却損	75
売上債権の増減額(△は増加)	18,326
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,131
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,926
その他	△5,335
小計	△6,527
利息及び配当金の受取額	236
利息の支払額	△1,058
法人税等の支払額	△1,177
法人税等の還付額	1,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,499
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△8,278
有形固定資産の売却による収入	813
投資有価証券の取得による支出	△24
貸付けによる支出	△27
貸付金の回収による収入	39
その他	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,448
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,155
長期借入れによる収入	18,895
長期借入金の返済による支出	△8,739
社債の発行による収入	7,250
セール・アンド・リースバック取引による収入	5,476
リース債務の返済による支出	△251
配当金の支払額	△1,989
少数株主への配当金の支払額	△51
その他	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	△409
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,388
現金及び現金同等物の期首残高	12,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,222

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日）

	機械工具事業 (百万円)	部品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	27,230	44,243	7,102	78,576	—	78,576
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	441	190	4,272	4,904	(4,904)	—
計	27,671	44,434	11,374	83,480	(4,904)	78,576
営業利益又は営業損失(△)	△1,967	△1,760	△283	△4,012	37	△3,974

(注) 1. 事業区分は、経営管理上採用している区分及び販売市場の類似性を考慮して決定いたしました。

2. 事業区分の主要な製品

- (1) 機械工具事業…工具、工作機械、ロボット
- (2) 部品事業…ベアリング、油圧機器
- (3) その他の事業…特殊鋼、運送、情報処理関連

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	59,806	8,686	3,131	6,952	78,576	—	78,576
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,210	248	140	683	10,282	(10,282)	—
計	69,016	8,934	3,271	7,635	88,859	(10,282)	78,576
営業利益又は営業損失(△)	△4,874	△273	△70	260	△4,958	983	△3,974

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 米 州…米国、カナダ、ブラジル
- (2) 欧 州…ドイツ、チェコ
- (3) アジア…シンガポール、タイ、オーストラリア、中国

## 【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年8月31日)

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	9,331	3,381	14,802	27,515
II 連結売上高(百万円)				78,576
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.9	4.3	18.8	35.0

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 米州…米国、カナダ、ブラジル

(2) 欧州…ドイツ、イギリス、フランス

(3) アジア…中国、台湾、韓国、シンガポール、タイ、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る連結財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年12月1日 至平成20年8月31日)
区分	金額(百万円)
I 売上高	153,829
II 売上原価	120,178
売上総利益	33,651
III 販売費及び一般管理費	20,388
営業利益	13,262
IV 営業外収益	781
V 営業外費用	1,774
経常利益	12,269
VI 特別利益	71
VII 特別損失	178
税金等調整前四半期純利益	12,162
法人税、住民税及び事業税	3,894
法人税等調整額	900
少数株主利益	224
四半期純利益	7,143

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年12月1日 至平成20年8月31日)
区分	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	12,162
減価償却費	7,655
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△831
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△25
受取利息及び受取配当金	△338
支払利息	852
持分法による投資損益(△は益)	△48
有形固定資産売却益	△8
有形固定資産売却損	5
有形固定資産除却損	172
投資有価証券売却益	△61
売上債権の増減額(△は増加)	△1,323
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,472
仕入債務の増減額(△は減少)	3,872
その他	△4,444
小計	15,166
利息及び配当金の受取額	363
利息の支払額	△847
法人税等の支払額	△5,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,524
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△17,494
有形固定資産の売却による収入	534
投資有価証券の取得による支出	△1,081
投資有価証券の売却による収入	84
その他	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,928
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,669
長期借入れによる収入	6,310
長期借入金の返済による支出	△7,636
社債償還による支出	△150
配当金の支払額	△1,989
その他	228
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,430
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△21
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	△6,994
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	20,965
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	13,971

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年12月1日至平成20年8月31日)

	機械工具事業 (百万円)	部品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	58,230	81,100	14,498	153,829	—	153,829
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,358	683	6,764	9,807	(9,807)	—
計	60,589	81,783	21,263	163,636	(9,807)	153,829
営業利益	3,574	8,293	1,372	13,240	22	13,262

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年12月1日至平成20年8月31日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	120,546	16,006	7,990	9,285	153,829	—	153,829
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,482	820	362	924	19,590	(19,590)	—
計	138,029	16,827	8,353	10,209	173,419	(19,590)	153,829
営業利益	10,190	1,444	224	874	12,734	527	13,262

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成19年12月1日至平成20年8月31日)

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	18,182	8,617	22,040	48,841
II 連結売上高(百万円)				153,829
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.8	5.6	14.4	31.8